

職業能力開発総合大学校

総合課程 学生募集

平成24年4月入学

新生「職業能力開発総合大学校」

— 総合課程の新設 —

職業能力開発総合大学校は平成23年に創立50周年を迎えました。この機に、キャンパスを東京都小平市に統合し、職業訓練指導員の育成と再訓練並びに職業能力開発に関わる研究を中核業務とする我が国職業能力開発の中核機関(COE)として再発足することになりました。

その下で、高度技能者養成課程である「専門・応用課程(小平キャンパス)」を改編し、21世紀のグローバル時代に相応しい「ものづくりプロセス技術者」を体系的に育成する総合課程としました(学位授与機構に学士課程認定取得予定)。

職業能力開発総合大学校長

古川 勇二



職業能力開発総合大学校シンボルマーク
“科学・技能・技術”の三本の柱が訓練技法で統合されている

SYOKUGYODAI

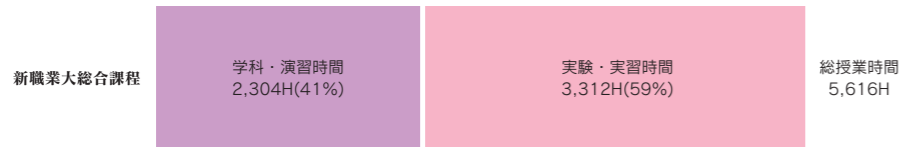
本学は厚生労働省所管で職業能力開発促進法に基づき設立された大学校です

教育目標 生産現場の指導者(生産現場全体を見渡せるマネジメント能力を有する中核的・指導的技術者)になり得る人材を育成する

職業訓練と科学・技術(大学教育)の一体化教育

ものづくりにおけるイノベーション(革新)には、プロダクト・イノベーション(企画・開発による革新)と、プロセス・イノベーション(製造技術革新)とが常に必要とされます。一般大学・工学部では、主にプロダクト・イノベーターの育成を標榜し、社会に送り出しています。これに対し、職業大・総合課程では、職業訓練と科学・技術(大学教育)を一体化して行うことにより、製造現場で必要となる知見を実際に使える形で徹底的に教育すると共に、現場で活用できる技能を身につけます。

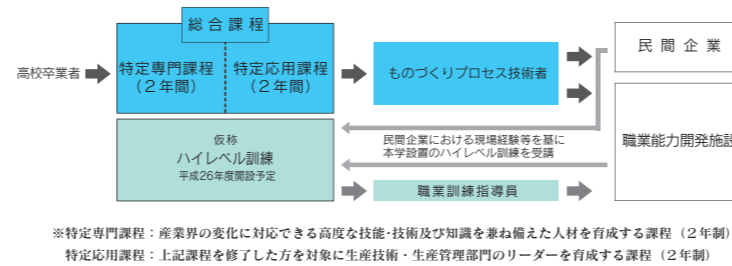
その結果、一般大学・工学部で得られるプロダクト・イノベーターとしての能力と、製品を実際に作り込むことの出来るプロセス・イノベーターとしての能力を併せ持つ「ものづくりプロセス技術者」として育成することが可能となります。



総合課程の構成と仕上がり像

(構成)
総合課程は、職業能力開発促進法施行規則に定められた訓練課程であり、高度職業訓練の特定専門課程(2年間)と特定応用課程(2年間)から構成され、両課程を4年間で体系的に実施する訓練課程です。

(仕上がり像)
総合課程では、職業訓練と科学・技術(大学教育)の一体化教育による成果として「プロセス技術者」を育成して、卒業生は、我が国の次世代のものづくり現場をリードし、品質・生産管理、組織管理、さらには人づくりまで含めた工場全体の運営・管理において活躍できる人材となることが期待されます。卒業生の一部は、現場経験を基に本学設置予定の職業訓練指導員育成課程(仮称:ハイレベル訓練)を受講し、職業訓練指導員として将来活躍することもあわせて期待されています。



特色ある教育訓練方法

本学では、教育訓練の場で常に技能・技術・科学の融合が図られた教育訓練が展開されることで、ものづくりの様々な場面に創意工夫がもたらされ、技能・技術、科学のより深い理解が得られます。技能、技術、科学の融合は本学シンボルマークにも表現されています。

企業の生産現場を教育のなかに再現し、そこでの実践的実習を通して職業能力を身につけます。その過程で職務分析、教材開発なども含めて学び、指導者としての素養も併せて磨きます。

3年次以降には学科を越えたグループ学習方式により、今日のものづくりに欠かせない他分野への理解促進、および協力の姿勢が養われます。

ものづくり創出拠点に立地する職業大だからこそ、多様な民間企業とのタイアップが可能となります。

国際的に活躍できる素養を身につけるため徹底したコミュニケーション教育が行われます。



習得する主な知識・能力

ものづくり力
開発設計力+ものづくり力等

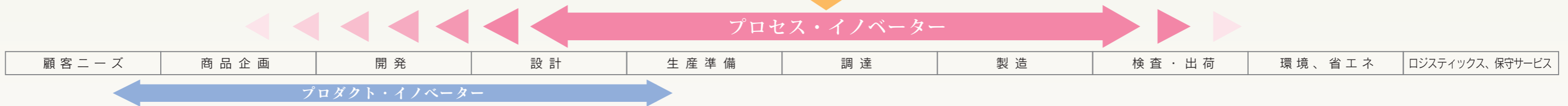
マネジメント力
経営管理的なスキル、ヒューマンスキル

指導力
組織的にものづくり力を引き上げていく能力、ものづくりの波及力

イノベーション力
新たな技術、価値の探求力、創造力

グローバル対応力
語学力+社会環境対応能力

卒業後に活躍を想定するものづくりステージ



生産プロセス技術系 募集4専攻

機械専攻

機械専攻は、機械設計技術、加工技術、測定技術など、ものづくりに関する基盤技術を中心とし、NC工作機械、FAシステムやロボットに代表されるような計測・制御、自動化技術などを習得し、これらの技能・技術に加え、指導的役割を担う能力を兼ね備えた実践技術者の育成を目指します。具体的には、機械要素設計、精密機械設計、機械加工、金属成形加工、精密加工、CAD/CAM/CAE、精密測定、メカトロニクス、生産システム、設備保全、安全衛生、さらに、総合的な実習としてグループ式の課題製作を通じて生産現場に必要な応用力や問題解決能力を身につけるとともに、卒業研究による、ものづくりに関する理論的な評価、検証を行うことで論理的思考の育成を行います。



NC加工実習 精密機械加工とメカニズムを取り入れた実習課題

電気専攻

電気システム技術は、あらゆる産業分野で利用されており、現代社会にはなくてはならないものです。電気専攻では、電気回路技術、電気エネルギー変換技術、計測・制御技術および環境技術などの理論と技能を学びます。また、生産現場に直接的に対応した電気設備の設計・施工・管理技術、工場自動化技術、電動応用技術および自然エネルギー利用技術を習得します。さらに太陽光発電の系統連系装置や電動車両制御装置の設計・製作等の実践的なものづくり実習と卒業研究を通じて、幅広い専門知識と優れた問題解決能力を合わせ持ち、生産現場における技術革新にいち早く対応できる中核的・指導的な技術者を育成します。



電力系統保護システム実験 太陽光パネル

電子情報専攻

電子情報専攻は、あらゆる製造業の基盤であるエレクトロニクス技術、ソフトウェア技術をベースとして学び、これらを融合させたシステム化技術、マイコン組み込み技術、計測制御技術を習得し、これらの技能・技術を広く社会に伝承・普及できる指導能力も有する先導的・指導的実践技術者を養成することを目的としています。卒業研究で科学的な専門性を深めると共に、総合的なものづくり実習を通じて、チームワーク力、プロジェクト推進力、折衝能力・調整力、応用力や問題解決能力を身につけ、製品製作に係る分析、設計、試作、評価等のものづくり工程全般を鳥瞰的に捉える能力を身につけることが出来ます。



自動化機器設計製作課題実習 球体移動ロボット

建築専攻

建築物は様々な技術・技能を有機的に統合して構築され、多くの人々の協力によって企画・設計・施工されます。近年では、建築ストックの成熟と建築物の長寿命化により、新築工事よりもリニューアル工事が増えていることから、伝統的な建築技術・技能に加えて、イノベーション・テクノロジーが不可欠となっています。建築専攻では、木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造の設計、施工、構造、内外装仕上げ及び建築設備に関する技術・技能を習得します。その際、建築のデザインや計画を学ぶだけでなく、ノミやカンナによる木造の仕口や継手の加工、クロス施工など、現場さながらの実習を通して、高い品質を提供する技能・技術はもとより、指導的役割を担う能力を兼ね備えた実践技術者の育成を行います。



鉄筋コンクリート施工管理課題実習 木造耐力壁破壊実験

総合課程募集専攻・定員*

募集専攻名	定員	
生産プロセス技術系	機械専攻	20名
	電気専攻	20名
	電子情報専攻	20名
	建築専攻	20名

入試

	一般入試	推薦入試
試験日	平成24年2月14日(火)	平成23年11月19日(土)
願書受付期間	平成24年1月10日(火) ～20日(金)	平成23年10月21日(金) ～28日(金)
試験内容	英語、数学、物理、 グループ面接	小論文、 面接(口頭試問及び簡便な実技を含む)
合格発表日	平成24年2月24日(金)	平成23年12月9日(金)

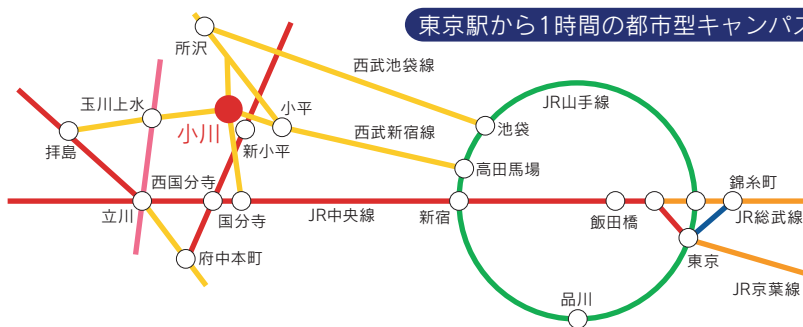
詳細は「平成24年度学生募集要項」及びホームページでご確認ください。

応募資格(一般入試)

- 学校教育法による高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。又は平成24年3月卒業見込みの者。
 - 上記1と同等以上の学力を有すると認められる者。
- ※推薦入試の応募資格は、募集要項でご確認ください。

学費等

入学金	282,000円
授業料 (年間)	535,800円 教科書代、実習服代等別途必要。
入学選考料	22,500円
授業料免除制度	学業成績が優秀と認められる者に対して、一定の条件の下で授業料が免除されます(全額免除)。
学生寮	希望者は入寮選考のうえ、入寮できます。 使用料56,400円(年間) 共益費144,000円(年間) 食費別途(3食で月24,000円程度 平成23年度参考価格)

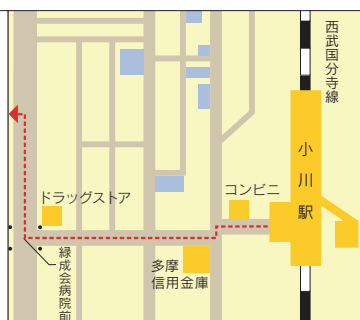
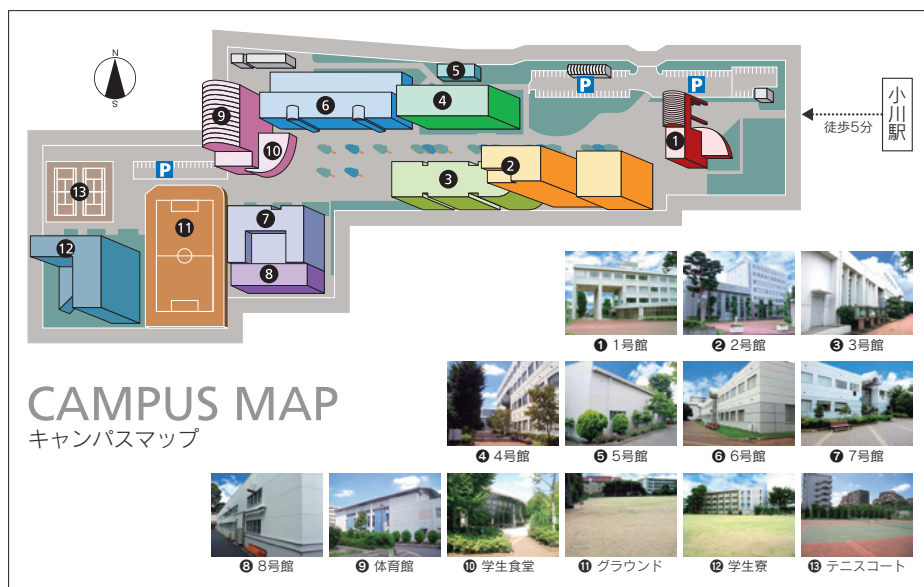


交通アクセス

西武新宿線 拝島行小川駅下車 徒歩5分
JR中央線 国分寺駅より西武国分寺線
東村山行小川駅下車 徒歩5分
JR武蔵野線 新小平駅下車 徒歩25分

住所

〒187-0035 東京都小平市小川西町2-32-1



問い合わせ

職業能力開発総合大学校
総合課程開設準備室(学生募集)
電話042-763-9023
E-mail:gakusei@uitec.ac.jp

<http://www.uitec.ac.jp>

*)総合課程は、職業能力開発促進法施行規則第36条の2により定められています。